令和４年度「在宅における食支援連携研修会」

～「いつまでも美味しく口から食べる」を支える～

実施要領

１　目的

　庄内の高齢化率は年々上昇しており、介護や支援が必要な高齢者の増加が懸念される。

特に、高齢者にとっては「口から食べる」ことが栄養素の摂取や咀嚼・嚥下の維持・改善だけではなく、食べる楽しみや生きる意欲につながる為、高齢者への「食支援」は重要である。

また、病院や福祉施設では専門職による食支援が行われているが、在宅医療・福祉への食支援も充実させる必要がある。そこで、在宅医療・福祉に携わる関係者が一堂に会し、食支援に対する理解を深め、多職種連携を推進させることを目的に研修会を開催する。

２　対象者

在宅医療・福祉に携わる関係者

（地域包括支援センター職員・訪問診療医師・歯科医師・薬剤師・栄養士・言語聴覚士

・居宅介護支援事業所職員　等）

３　開催日時および会場

　日時：令和４年11月18日（金）１８：３０～２０：３０

　会場：三川町子育て交流施設テオトル多目的ホール（三川町大字押切新田字桜木8-1）

４　内容

（１）講演　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１８:３０～１９:３０

　演題　「食支援に関わる地域連携（仮）」

　講師　（兵庫県西宮市　合同会社訪問栄養ステーション　えん　代表社員）

髙橋　瑞保　氏（管理栄養士）

（２）意見交換会（ワークショップ）　　　　　　　　１９:３５～２０:３０

①活動紹介

ア　北庄内食援隊

酒田地区歯科医師会　歯科医師　大沼　寛　氏

イ　南庄内・たべるを支援し隊

鶴岡協立リハビリテーション病院　言語聴覚士　田口　充　氏

②ワークショップ

今後の食支援における地域連携、食支援が必要な方へのアプローチ等について

グループ毎に話し合い、代表者がまとめて発表し、意見を交換する。

　　　助言者：研修会講師　髙橋　瑞保　氏

総　評：庄内保健所長　蘆野　吉和